

ASNOVA

決算説明資料

2023年3月期第2四半期

株式会社ASNOVA

(名証ネクスト：9223)

2022年11月14日

トピック

- 4月から想定以上の機材稼働率により、第2四半期までの業績は、業績予想を上回って着地
売上：1,463百万円 経常利益：1百万円
- 佐賀県鳥栖市と栃木県上三川町に機材センター2拠点を開設
- 期初から想定以上のレンタル需要により業績予想を上回る見込み
売上：3,198百万円 (+6.6%) 営業利益：224百万円 (+46.6%)
経常利益：242百万円 (+43.5%) 当期純利益：154百万円 (+38.6%)

目次

- 1 — 2023年3月期 第2四半期業績
- 2 — 2023年3月期 通期業績予想
- 3 — 収益構造（最新版）
- 4 — 会社概要
- 5 — Appendix

1
—

2023年3月期 第2四半期業績

損益計算書 (対前年同期比)

- ・ 例年と違い、4月(期初)からの大幅な足場投資により前年同期比売上高が11%増加
- ・ 一方で、期初からの足場投資による減価償却費の増加、及び仕入価格の上昇により営業利益の減少

単位：百万円

項目	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額
売上	1,317	1,463	145
営業利益	47	△9	△56
経常利益	73	1	△72
当期純利益	46	△6	△52

第2四半期の予想と実績

- ・ 4月から想定以上の機材高稼働率、及び機材センター出店による売上高の増加
- ・ 経常利益が予想を上回り黒字で着地

単位：百万円

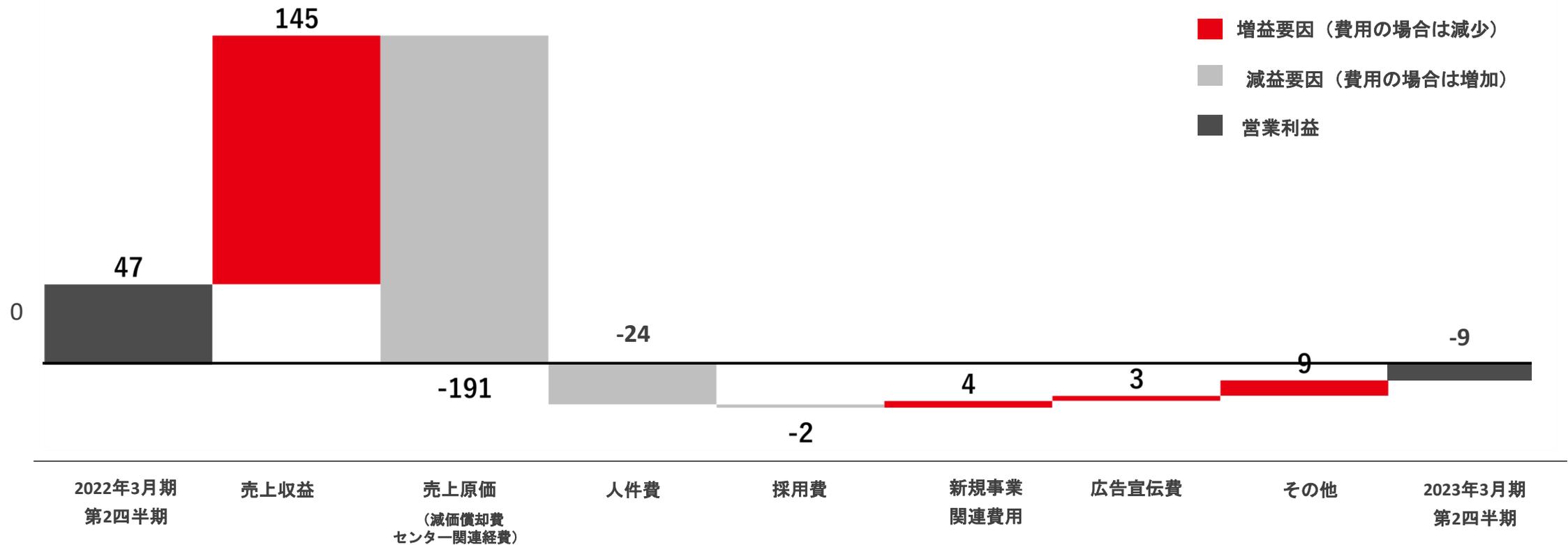
項目	2023年3月期 第2四半期 予想 (2022年5月13日)	2023年3月期 第2四半期 実績	増減額
売上	1,395	1,463	68
営業利益	△21	△9	12
経常利益	△16	1	17
当期純利益	△14	△6	7

2023年3月期 第2四半期業績

営業損益増減要因分析

- ・ レンタル事業の売上収益は大きく増加
- ・ 足場、機材センター新規出店への先行投資が利益減少の要因

単位：百万円



貸借対照表 (対前年同期比)

- ・ 期初からの大幅な足場投資により固定資産(足場)と有利子負債が増加

単位：百万円

項目	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	増減率
総資産	5,291	7,322	2,030	+38.4%
流動資産	787	1,082	294	+37.4%
固定資産	4,504	6,239	1,735	+38.5%
負債合計	3,049	4,662	1,612	+52.9%
流動負債	1,860	2,425	564	+30.4%
固定負債	1,188	2,236	1,048	+88.2%
純資産	2,242	2,659	417	+18.6%

2
—

2023年3月期 業績予想

業績予想の上方修正について

- ・ 想定を上回る機材の高稼働率により売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに増加
- ・ 機材センター2拠点開設による新規顧客の増加
- ・ 足場投資額が昨年と比較して、2倍の24億円を投資予定(投資額としては過去最高額)

単位：百万円

項目	2023年3月期 予想値 前回 (2022年5月13日)	2023年3月期 予想値 今回	増減額	増減率
売上	3,000	3,198	198	+6.6%
営業利益	153	224	71	+46.6%
経常利益	168	242	73	+43.5%
当期純利益	111	154	42	+38.6%

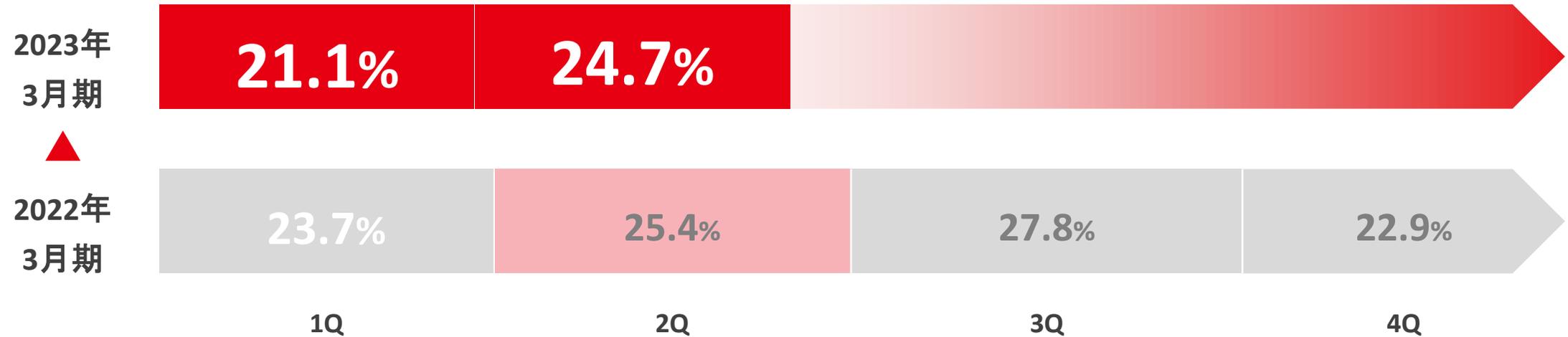
— 2023年3月期 業績予想

売上高進捗率

- ・ 季節要因があるため24.7%の進捗だが、例年通りの進捗率である

売上高 **1,463**百万円 前年同期比 **+11.1%** ↑

進捗率



3

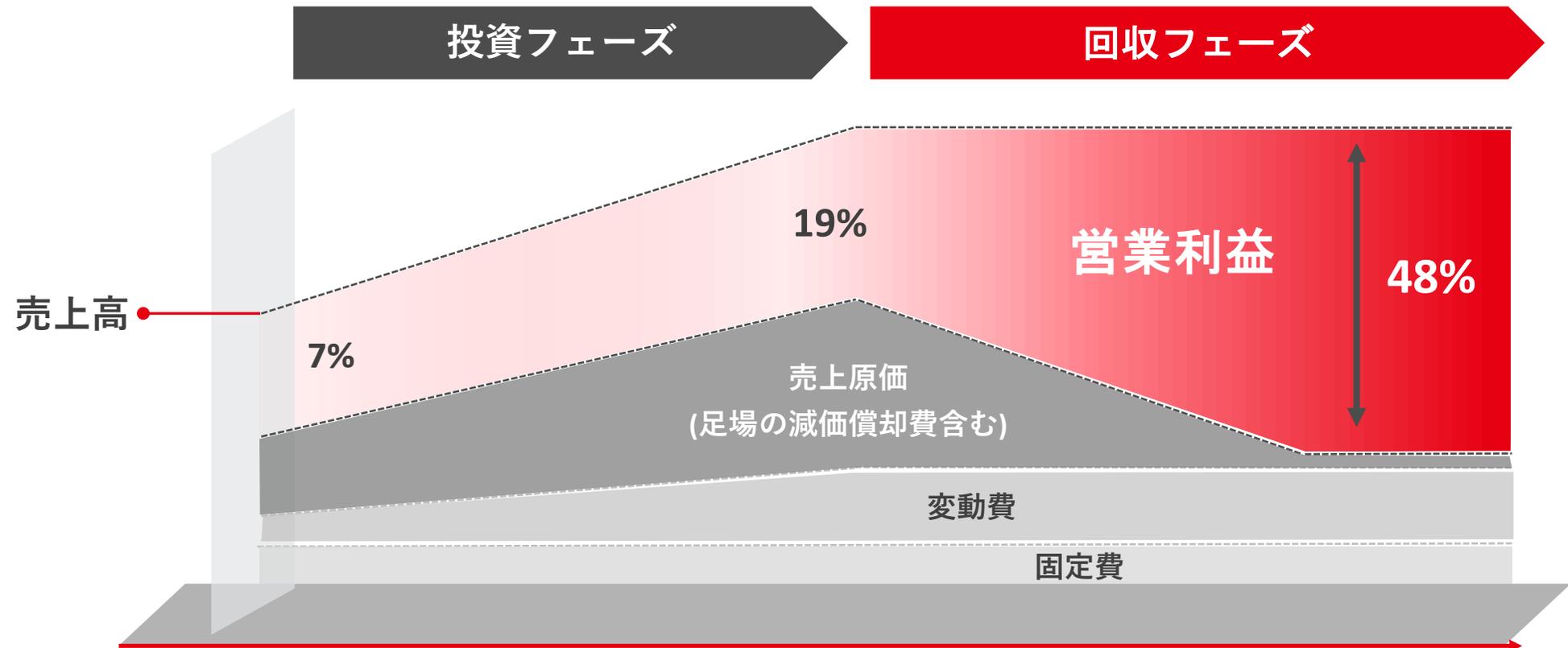
—

收益構造（最新版）

- 収益構造

投資フェーズと回収フェーズ

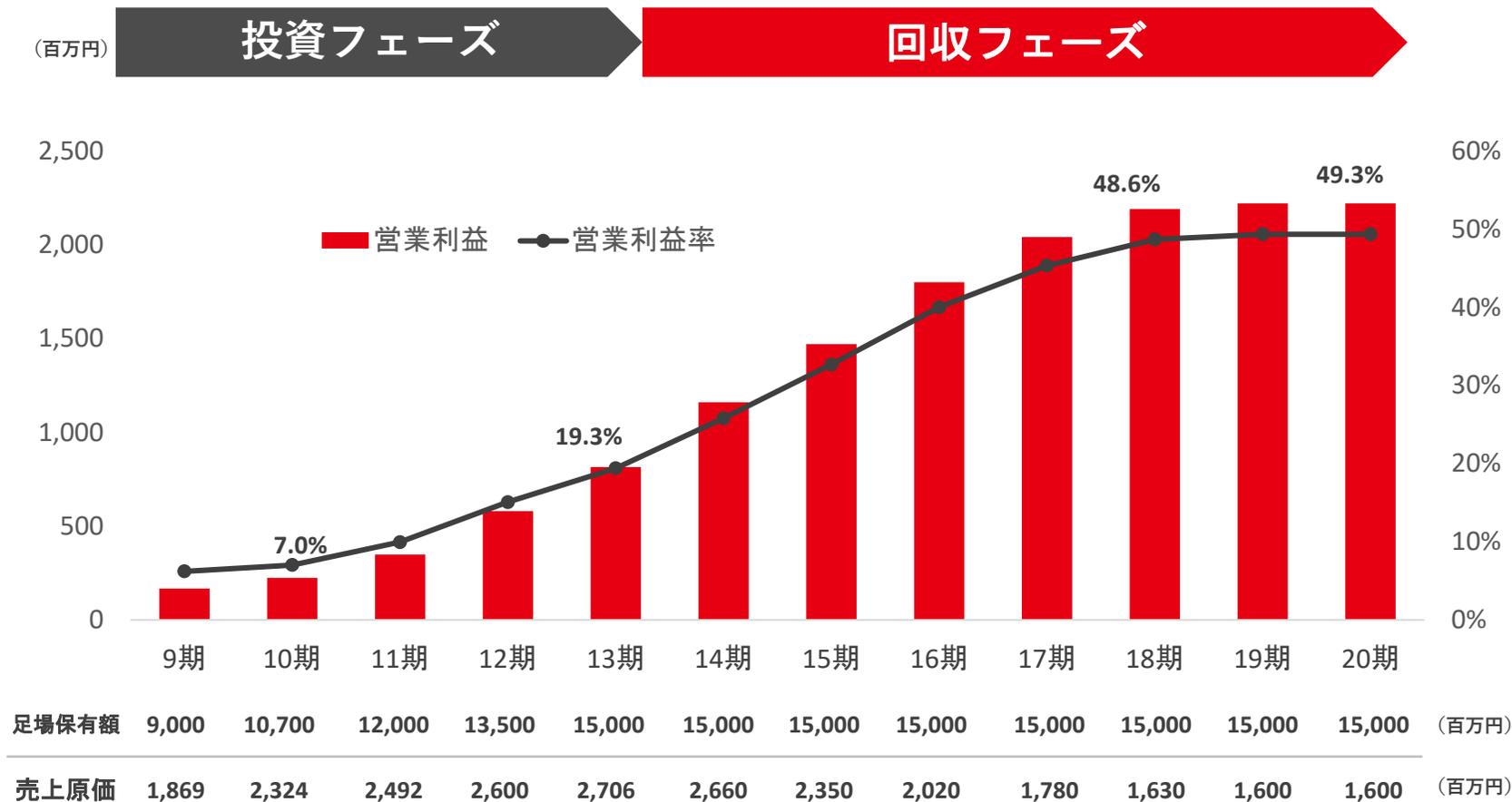
- ・ 足場の減価償却期間は5年
- ・ 足場は20年～30年と長く使用することが可能なため、回収フェーズに移ると利益率が大きく高まる



— 収益構造

営業利益シミュレーション

- ・ 足場の保有を150億円でストップした場合、18期には営業利益率48%を超える



シミュレーション条件

- ・稼働率現状維持
 - ・足場レンタル事業のみ
 - ・減価償却期間：5年
 - ・13期まで15億円足場投資
- ※10期 2023年3月期

4
—

会社概要

足場は工事現場をはじめ様々なシーンで使用されています



くさび式足場の特徴

- ・ **くさび式足場**は主に低層～中層建物（高さ45mまで）の工事で使用される

**設置・解体が
簡単**

ハンマー1本で
組み立てができる



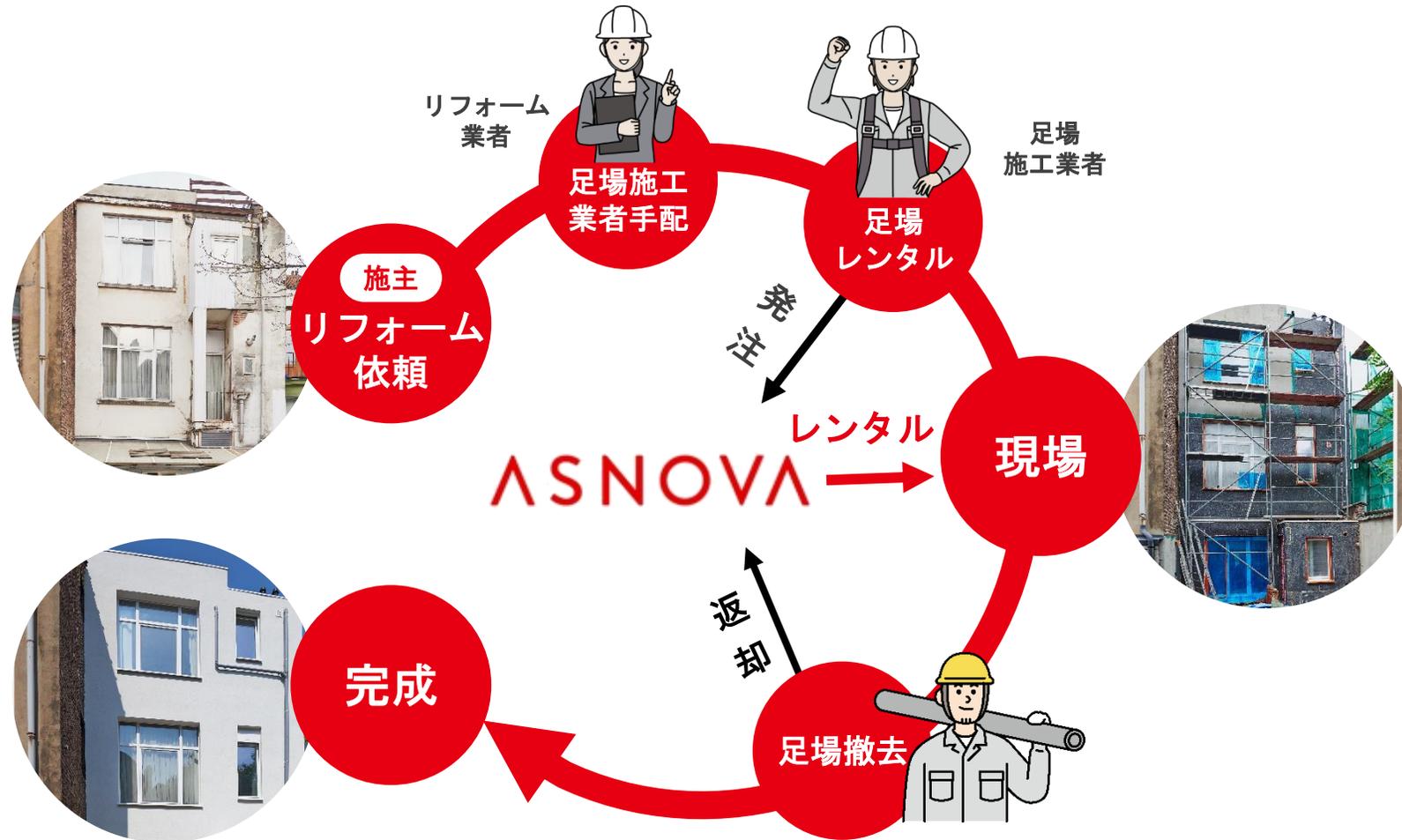
**施工費用が
抑えられる**

- ・ 施工効率が低い
- ・ 運搬効率が低い
- ・ 保管効率が低い

くさび式足場

会社概要

ビジネスフロー

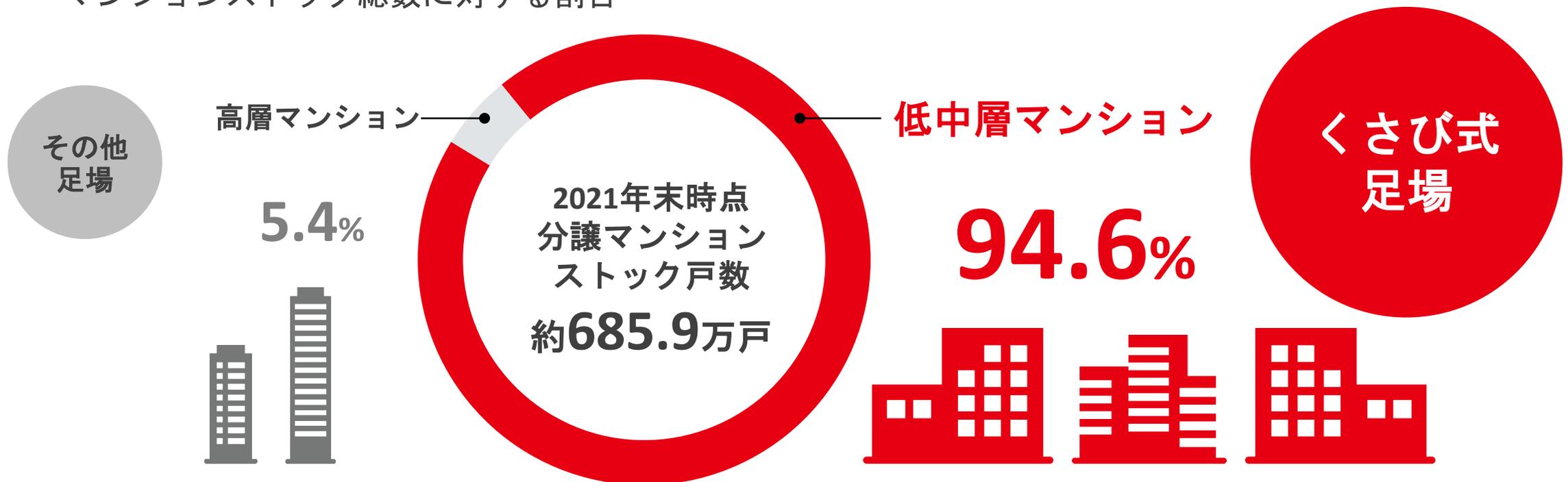


— 会社概要

なぜくさび式足場をレンタルをするのか

- ・ くさび式足場は最も流通している足場であり、低中層マンションや住宅で多く使用される
- ・ マンションストック戸数のうち94.6%がくさび式足場の使用が可能

— マンションストック総数に対する割合



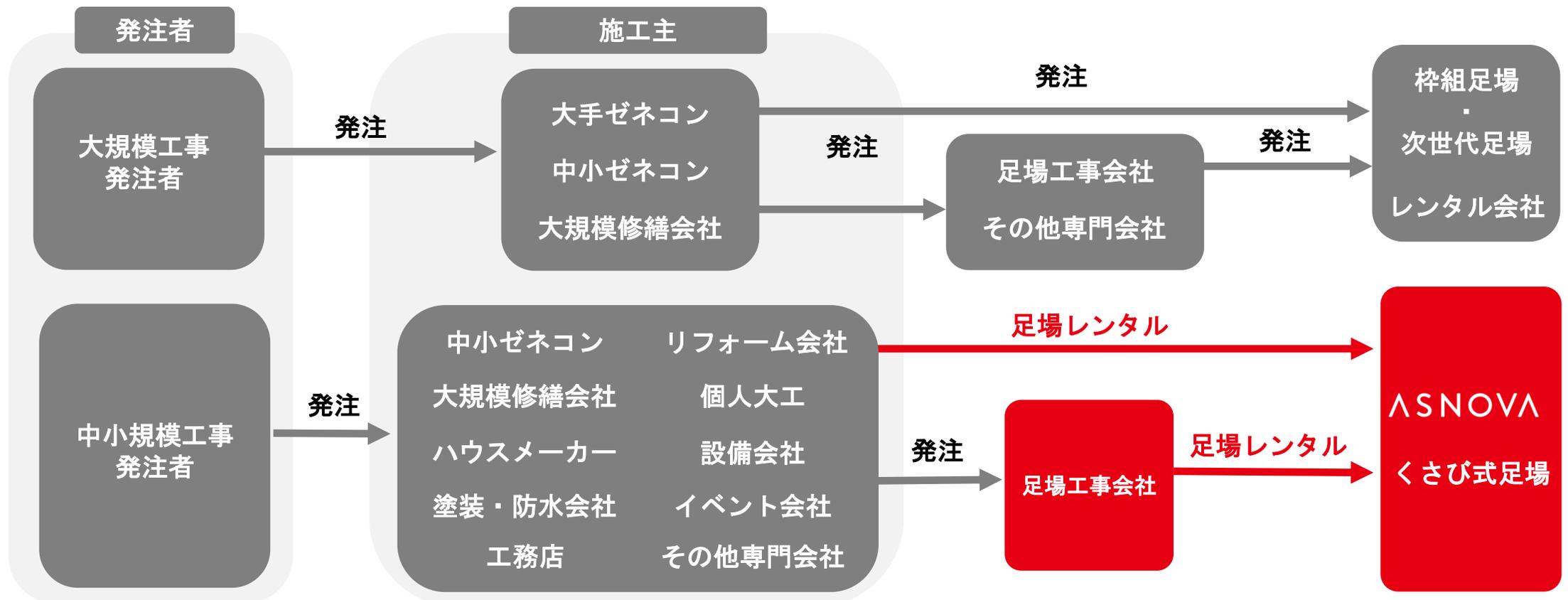
ビジネスモデル

- ・お客様の多くは足場施工業者であり、その他様々な業種からもレンタルの依頼がある



ポジショニング(仮設業界)

- ・ お客様の多くは足場施工業者であり、その他様々な業種からもレンタルの依頼がある
- ・ 工事規模、顧客層の違いにより、枠組・次世代足場（大手レンタル上場会社）との棲み分けがされている
- ・ 同業他社はくさび式足場レンタル業のみに特化（非上場会社）している会社になる

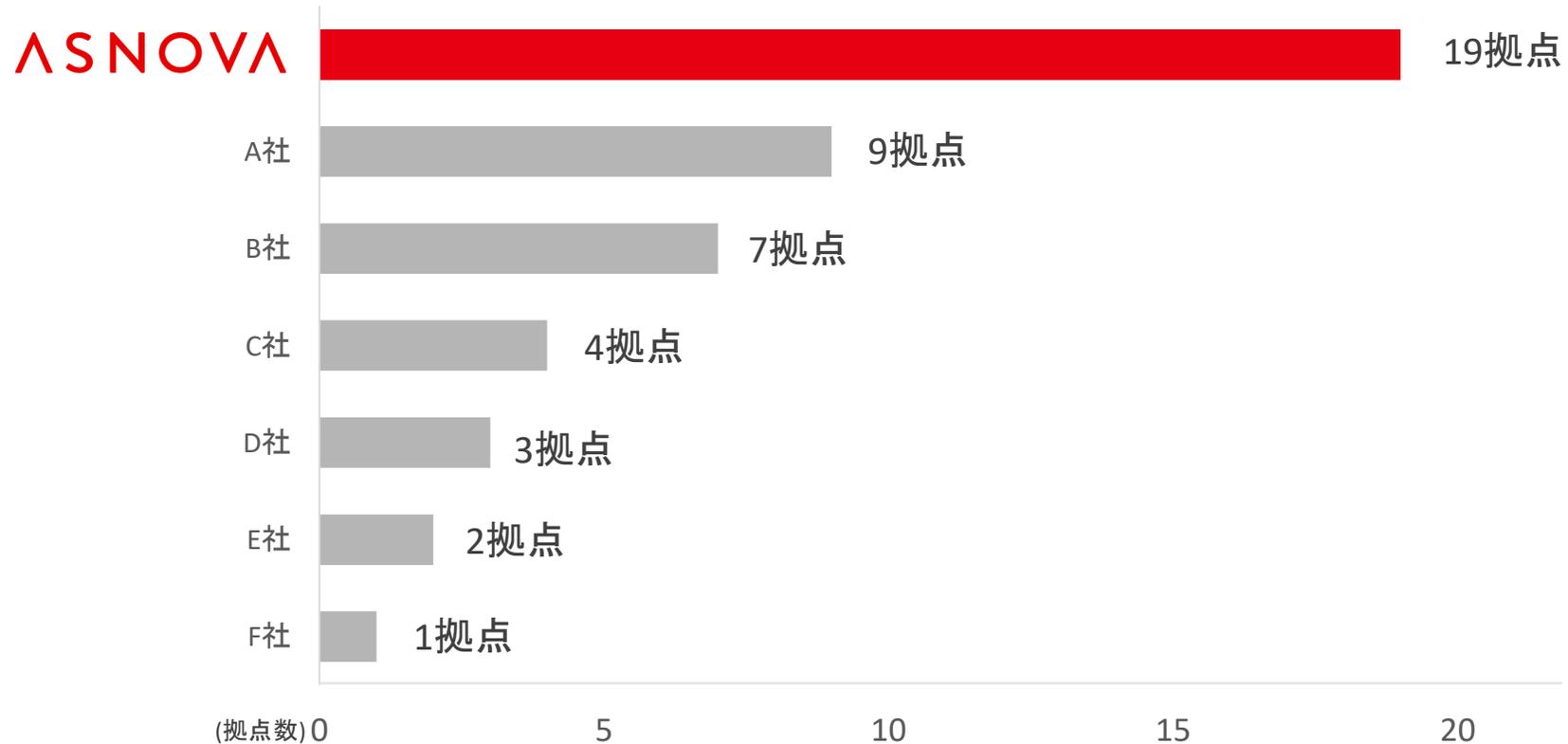


- 会社概要

ポジショニング(同業他社)

- ・ 同業他社はくさび式足場レンタル事業のみを行っている企業のため、同業他社は非上場企業となる
- ・ 拠点数、足場の保有量は業界ナンバーワンのシェア

- 同業他社と比較した機材センター拠点数



特徴と優位性

— 特徴と優位性

顧客がレンタル会社を選定する際に重要視する項目

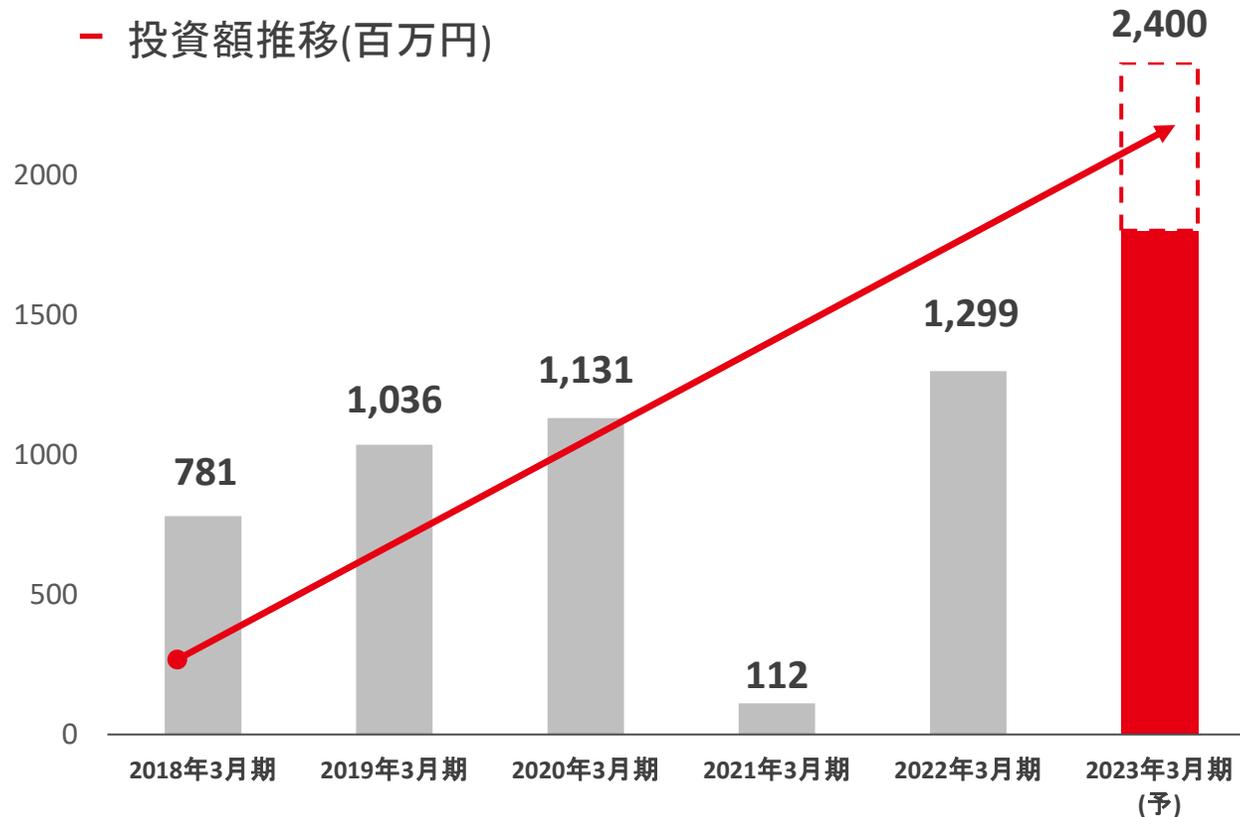
- ・ お客様の声から、レンタル会社の選定には在庫量、拠点の近さ、機材の品質が重要である傾向を把握
- ・ 「いつでも、近くで、安心して」をお客様は求めている



特徴と優位性

いつでも/足場機材への投資

- ・年間10億円以上の足場機材投資を行い、2022年9月末時点で約101億円の足場を保有
- ・今期は24億円の投資予定



※2021年3月期は、新型コロナウイルスの影響により積極的な投資を行っていません。

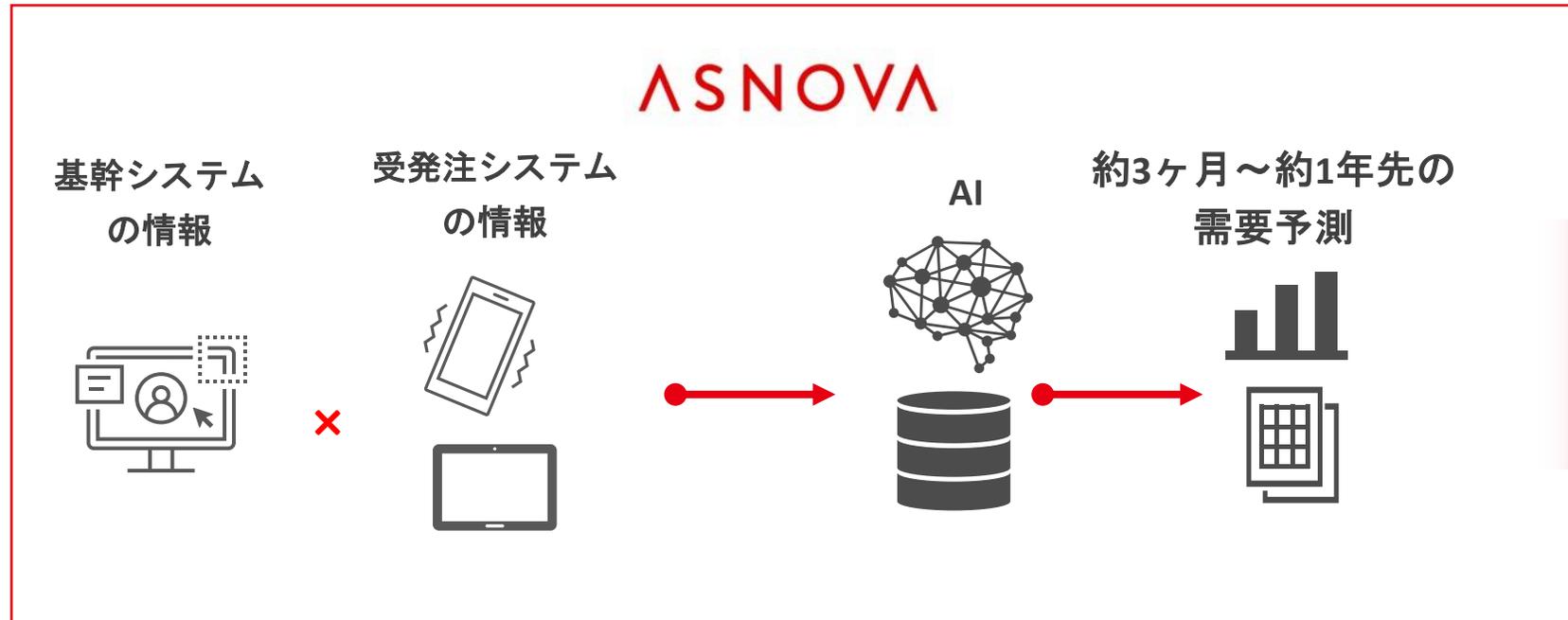


※保有額は、期末在庫に購入基準金額をかけて算出しております。
減価償却分を反映していませんので、B/Sの賃貸資産とは金額が異なります。

- 特徴と優位性

いつでも/AI予測を用いた需要予測

- 各センターに適切な機材の量をAIで予測することで、失注を必要最低限に抑えることが可能となる



AI導入業界初
(当社調べ)

今期より導入し
稼働率向上！

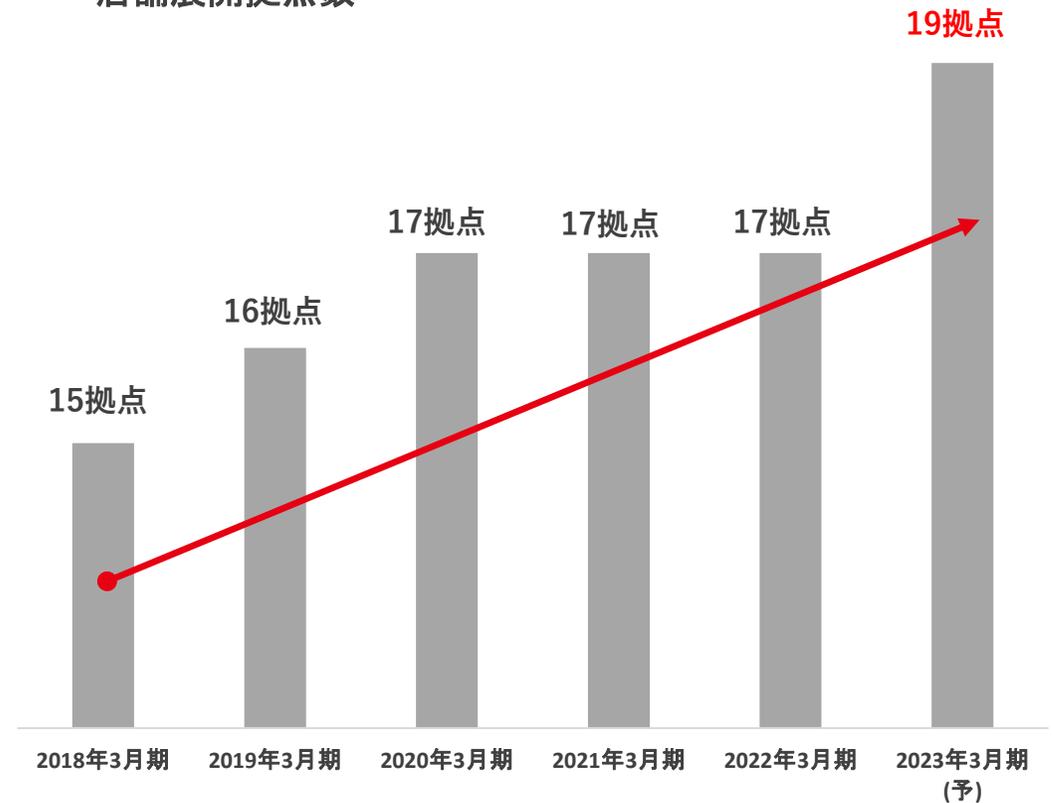
— 特徴と優位性

近くで/新規出店

- ・ 2023年3月期は栃木県上三川と佐賀県鳥栖の2店舗出店
- ・ 顧客の利便性を追求し、足場レンタル需要の多いエリアにドミナント出店を行う



— 店舗展開拠点数



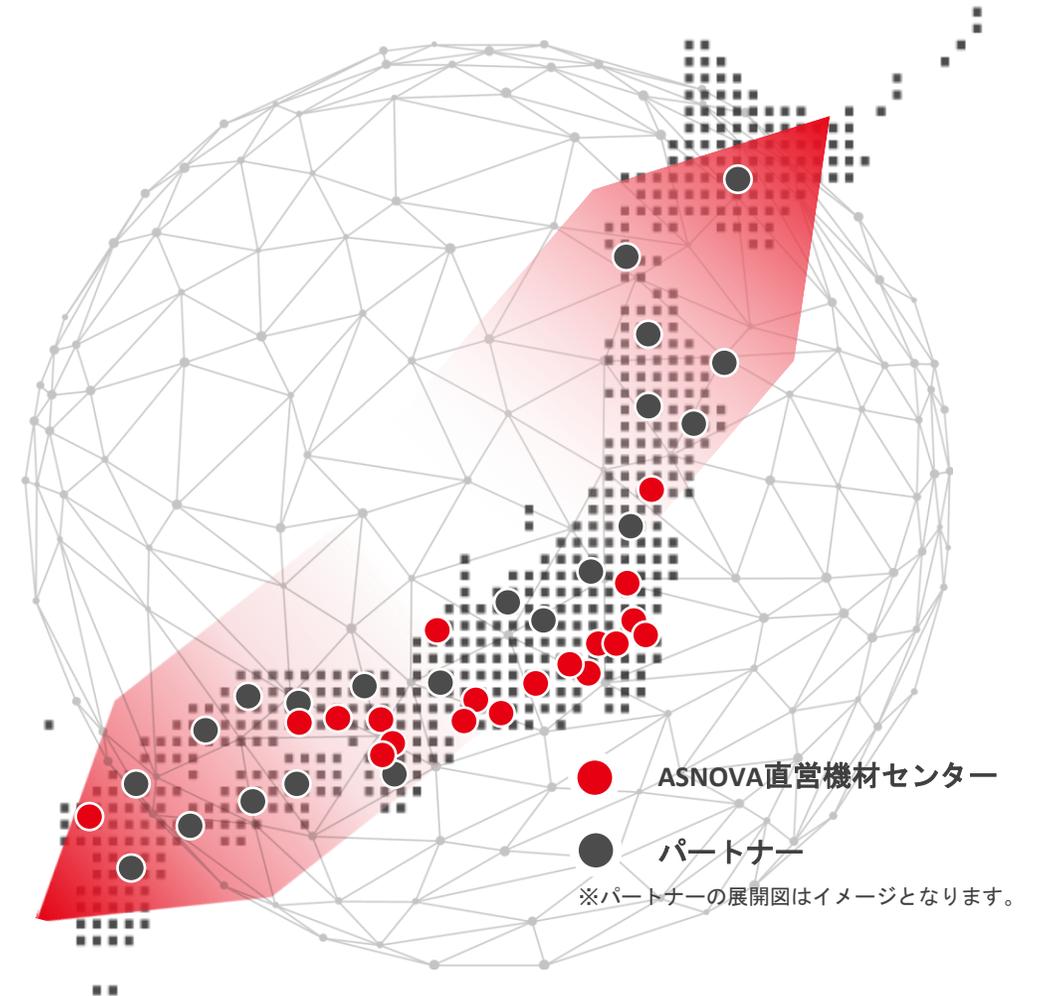
- 特徴と優位性

近くで/ ASNOVA STATION (パートナーを通じた地方展開)

- ・ レンタルサービスが行き届いていないエリアに「近くで」を実現する

ASNOVA STATION

パートナーと共に地域を活性化する
フルサポート型サービス

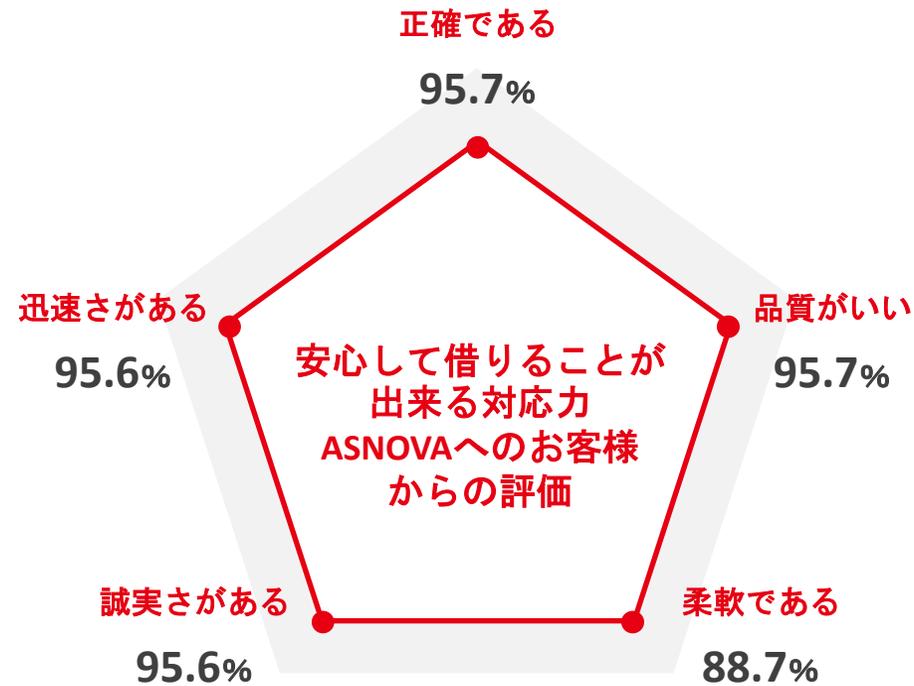


－ 特徴と優位性

安心して/お客様からの信頼

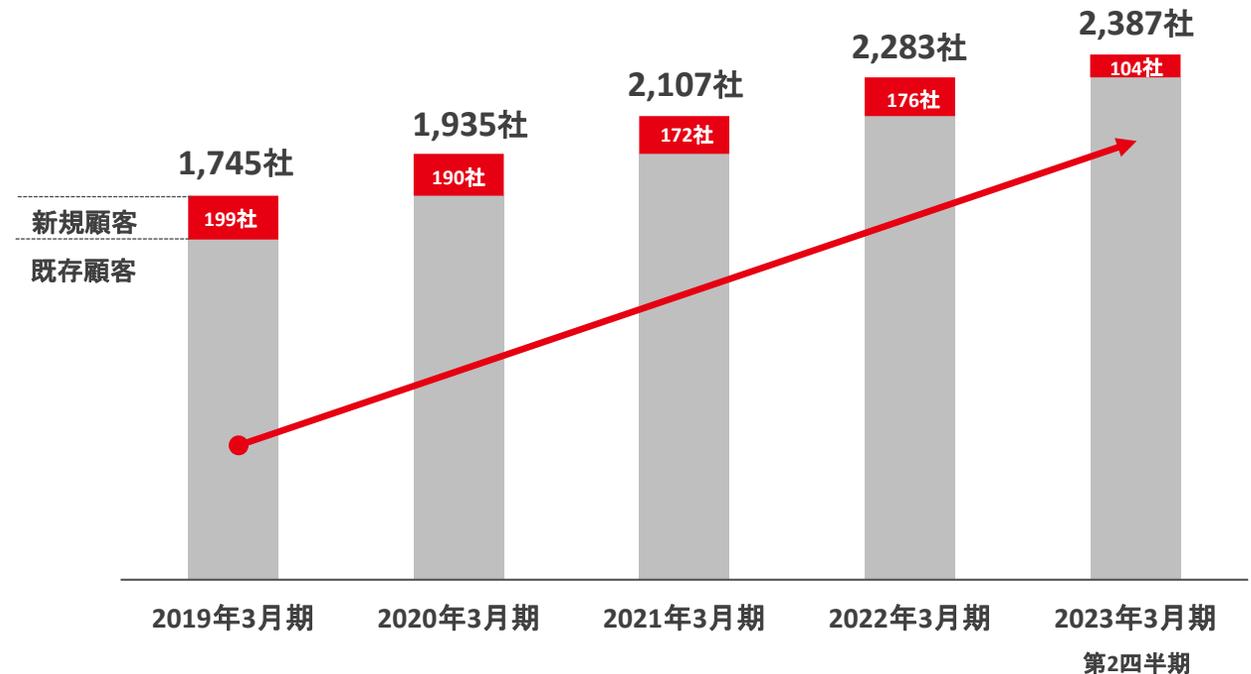
- ・ 2,300社を超える顧客数
- ・ 非常に高いお客様からの評価

－ 当社顧客アンケート結果



※「かなり優れている」「少し優れている」を集計した結果になります。
2022年6月自社調べアンケート結果(129社)

－ 顧客数

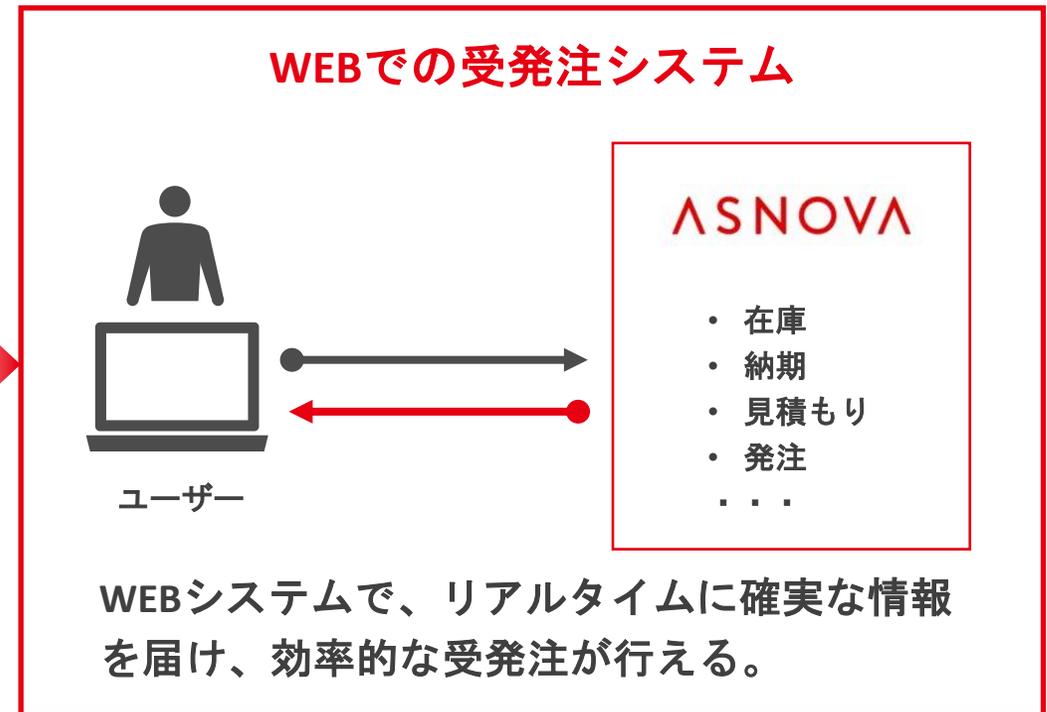
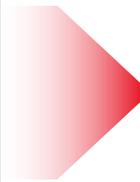
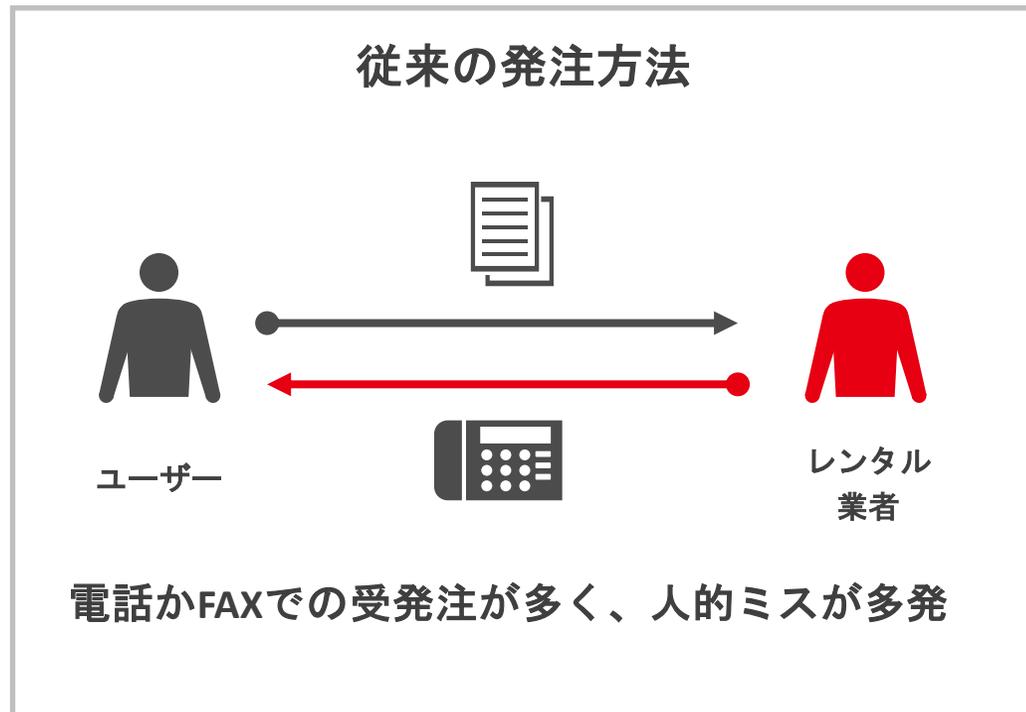


※新規顧客とは当該事業年度において新たに契約締結した顧客数であり、
既存顧客とは当該事業年度の前年度までに契約締結した顧客数を示しております。

- 特徴と優位性

安心して/WEB受発注システム

- ・ レンタルの受発注をWEBシステムへ移行させ、安心して発注できる環境を提供する
- ・ 煩雑な発注作業・業務量を減少させることで、人的ミスが減らす



取り巻く市場環境と社会課題

足場レンタル需要の拡大

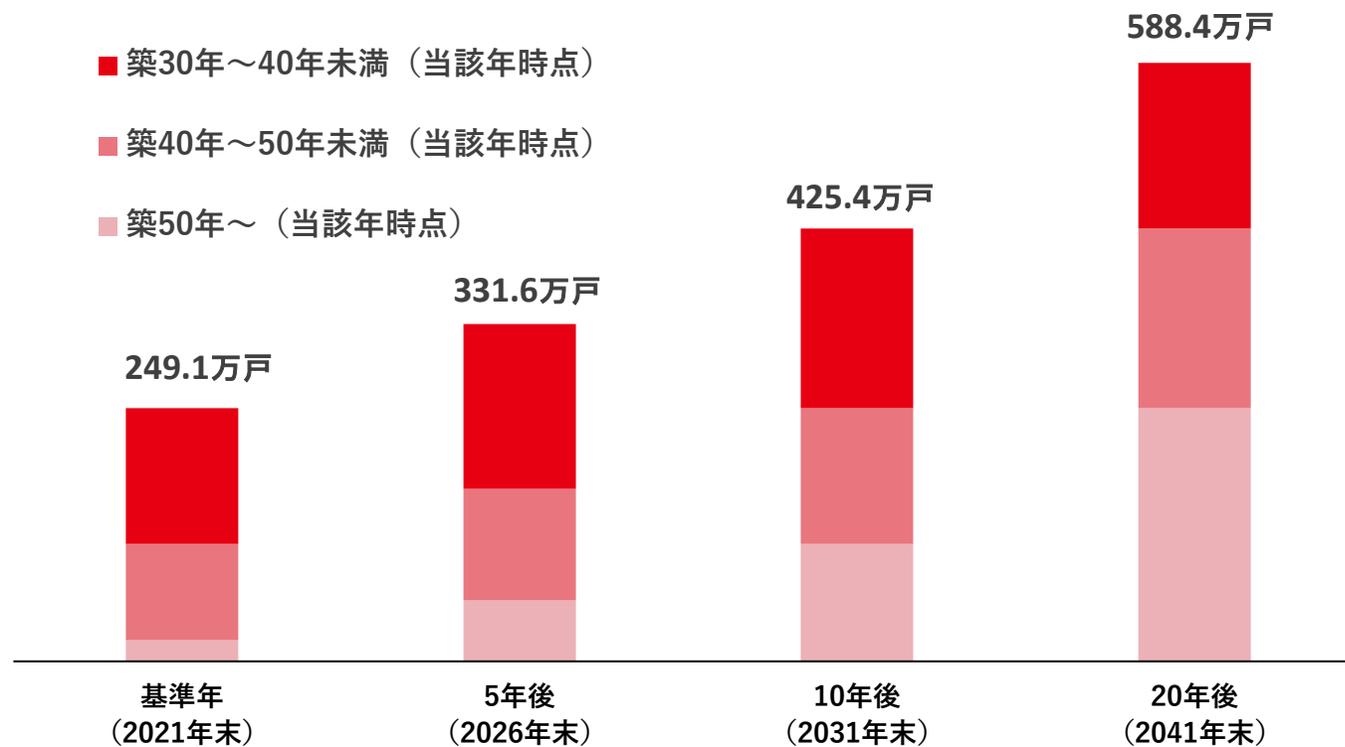
- ・ 「マンションリフォーム」「住宅リフォーム」「自然災害」の増加により足場の需要が伸びる



高経年マンション増加

- ・ 築30年以上の分譲マンションは多くの問題を抱えている。
- ・ 長期修繕計画に基づき12年周期で修繕が行われる。

- 築後30年、40年、50年超の分譲マンション数



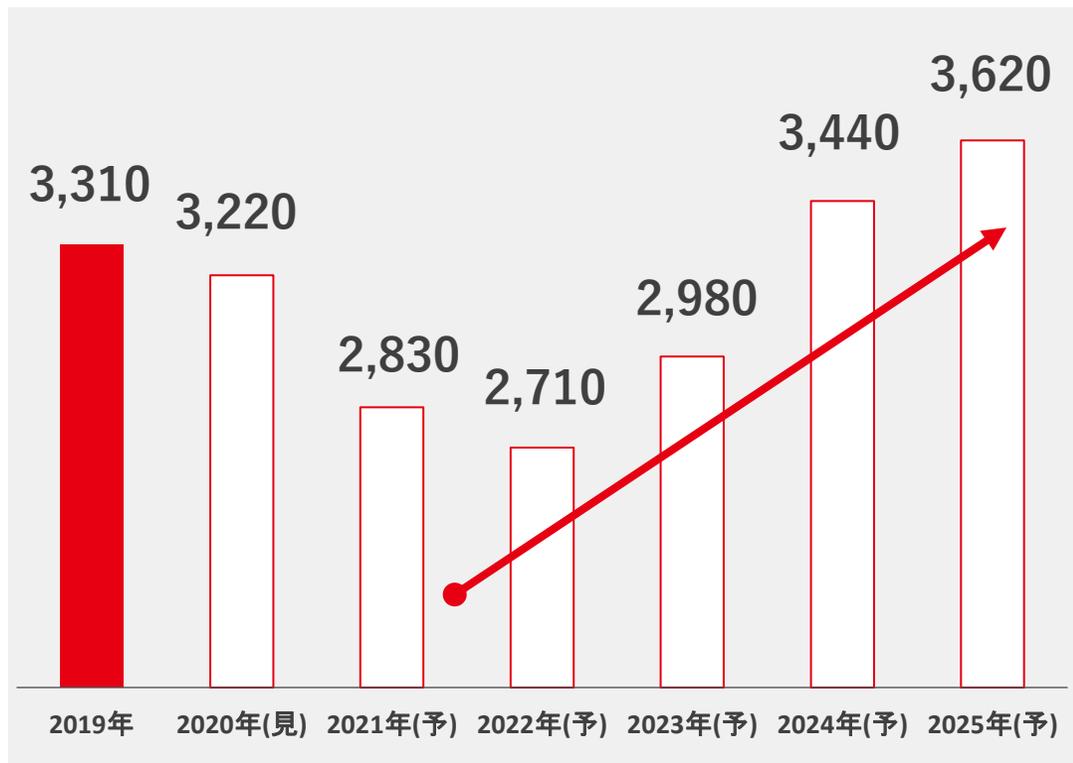
出典：国土交通省「築後30、40、50年超の分譲マンション数」(2021年末現在/2022年6月28日更新)

取り巻く市場環境と社会課題

分譲マンション大規模修繕需要

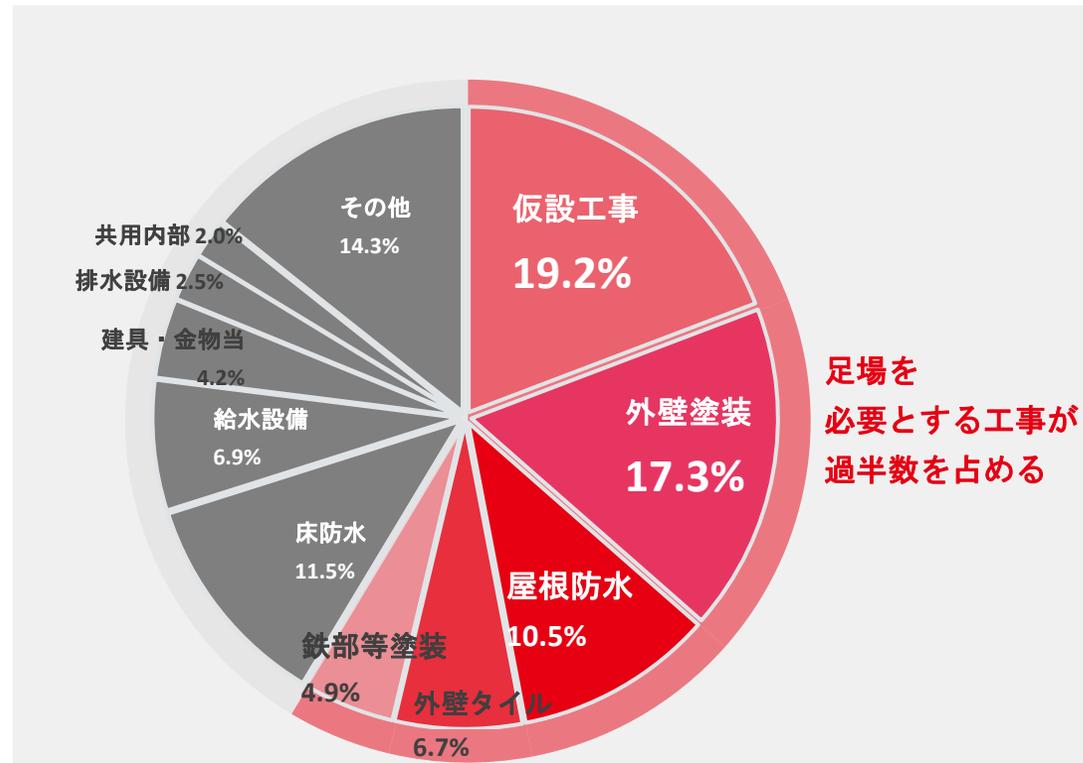
- ・大規模修繕工事は長期修繕計画に基づき、安定した需要が見込まれる。
- ・仮設機材を必要とする工事が過半数を占めている。

分譲マンション大規模修繕工事市場規模(億円)



出典：矢野経済研究所推計「上記数値は外壁塗装・鉄部塗装等、仮設工事が必要な工事のみの数値。給排水設備、電気・情報設備は含まない。全てのマンションが長期修繕計画を有しており、長期修繕計画に従って工事するものと仮定。」

大規模修繕工事内訳



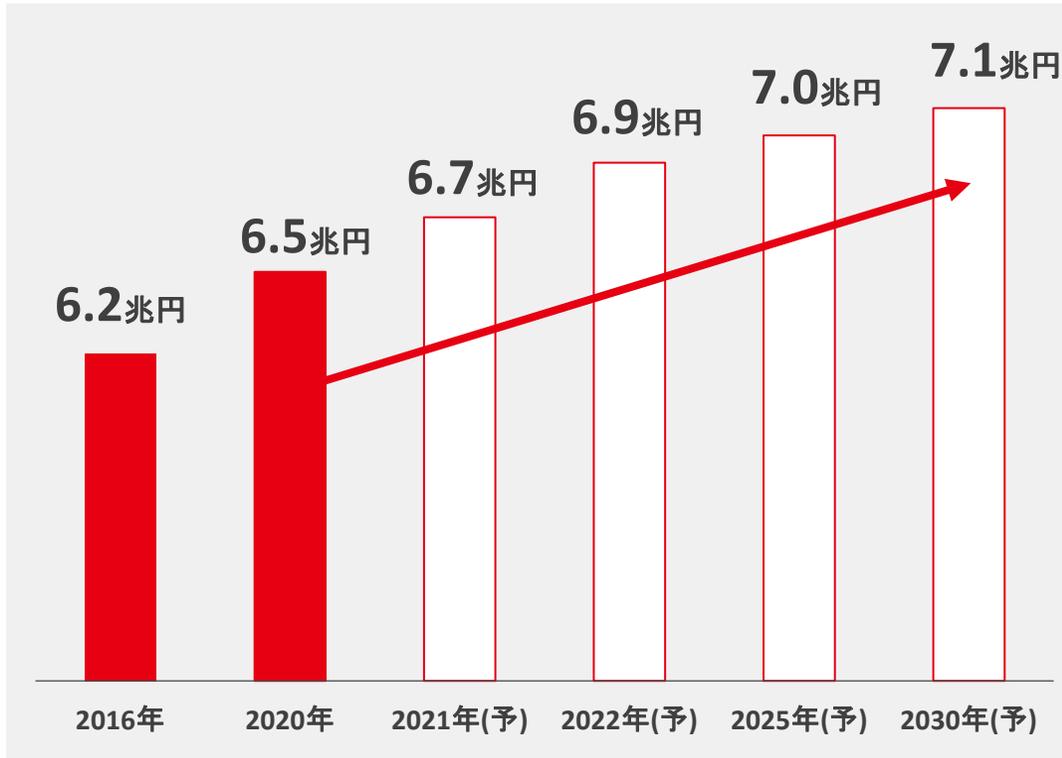
出典：国土交通省「マンション大規模修繕工事に関する実態調査」

－ 取り巻く市場環境と社会課題

住宅リフォーム市場

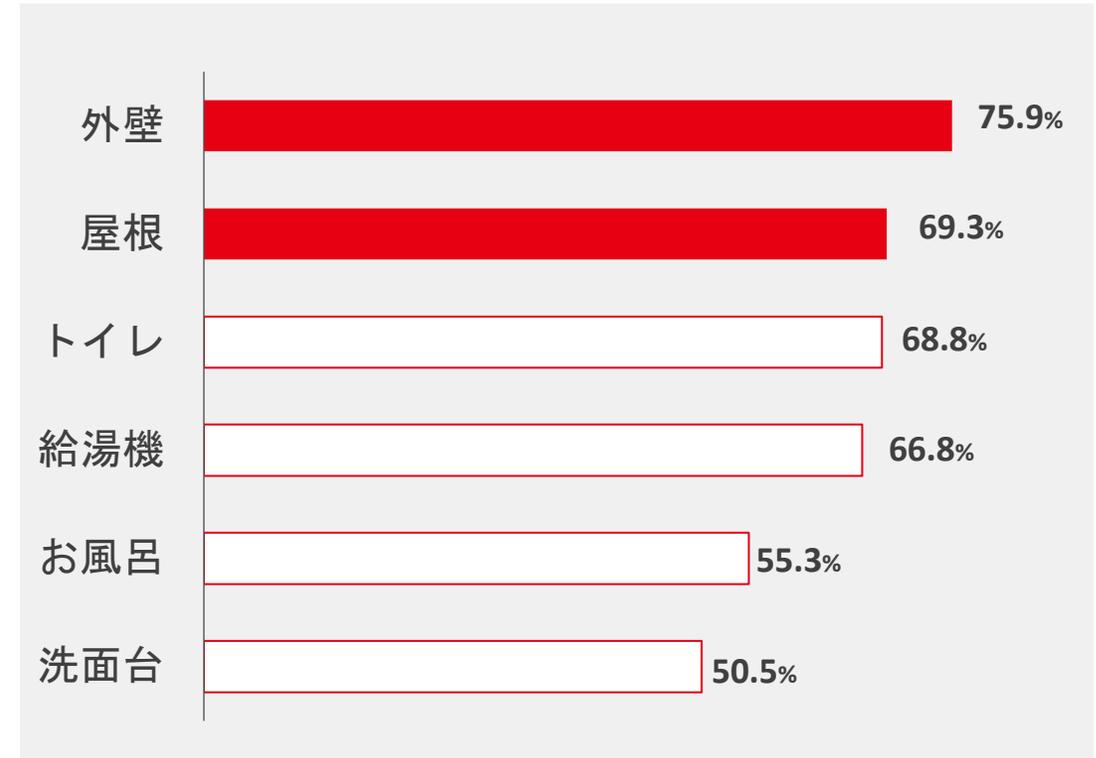
- ・ 在宅時間の増加、国のバックアップにより中古住宅への関心が高まったことで、リフォーム市場は堅調に推移する
- ・ 約7割は外壁や屋根のリフォームであり、いずれも工事に足場が使用される

－ 住宅リフォーム市場推移



出典：国土交通省「建築着工統計」、総務省「家計調査年報」、総務省「住民基本台帳」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)」、内閣府経済財政諮問会議「中長期の経済財政に関する試算」をもとに矢野経済研究所推計

－ 戸建住宅リフォーム経験者の割合（複数回答）



出典：リフォーム産業新聞（2022年1月3日）

自然災害の増加

- ・ 地球温暖化等の気候変動による影響から発生頻度及び被害額は増加
- ・ 自然災害に対する防災や住宅・マンションの老朽化は社会課題とされている

自然災害の増加

住宅・マンションの老朽化

2020年基準改定で
消費者物価指数に
屋根修理費が追加

社会的課題

復興・復旧
老朽化対策

ASNOVA

需要に応じて、多くの
足場を近くで提供できる
環境を整えることで社会
に貢献する

社会的課題に対応し、循環型社会の実現へ

- ・ 環境負荷の少ないレンタル事業で社会課題を解決することで、循環型社会の実現に取り組む

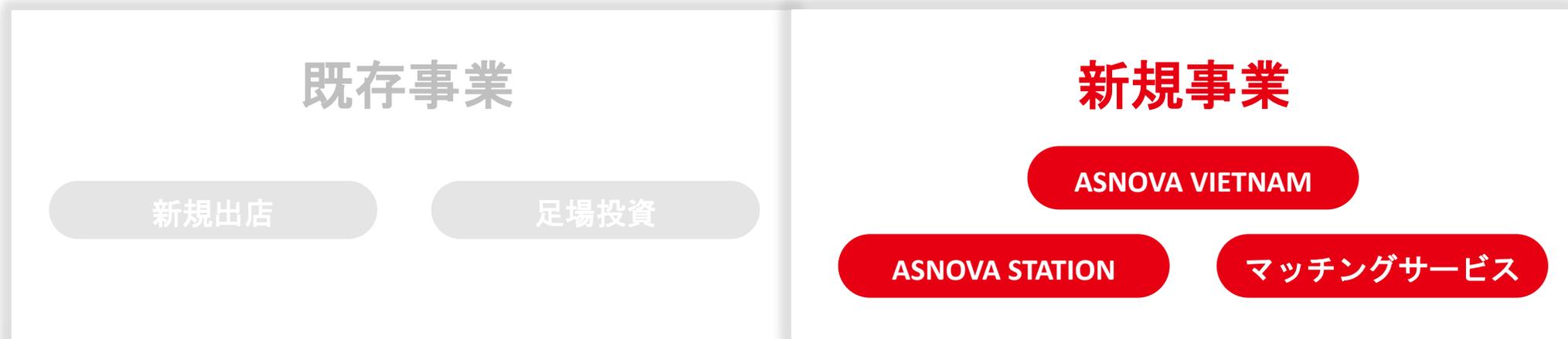


成長戦略（今後の取り組み）

— 成長戦略（今後の取り組み・新規事業）

成長戦略について

- ・ 経営基盤を強化し、既存事業の拡大を図り、新規事業に取り組む

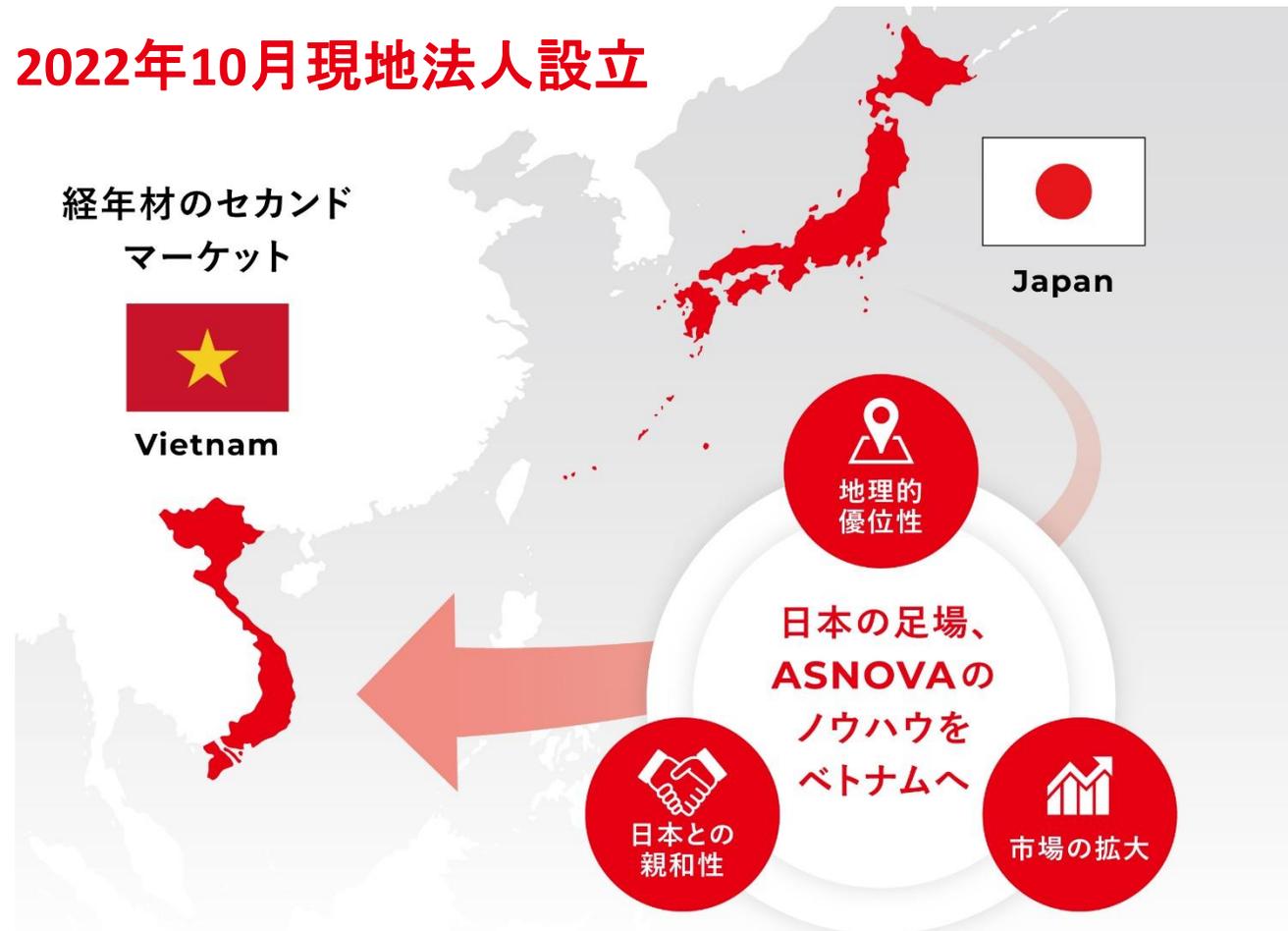


成長戦略（今後の取り組み・新規事業）

ASNOVA VIETNAM

・ベトナムの仮設業界と建設業界の発展に貢献

2022年10月現地法人設立



住宅購買層の増加による
工事需要の拡大

建設機材の高騰による
レンタルへ移行傾向

コロナ禍により停滞していた
建設の再開

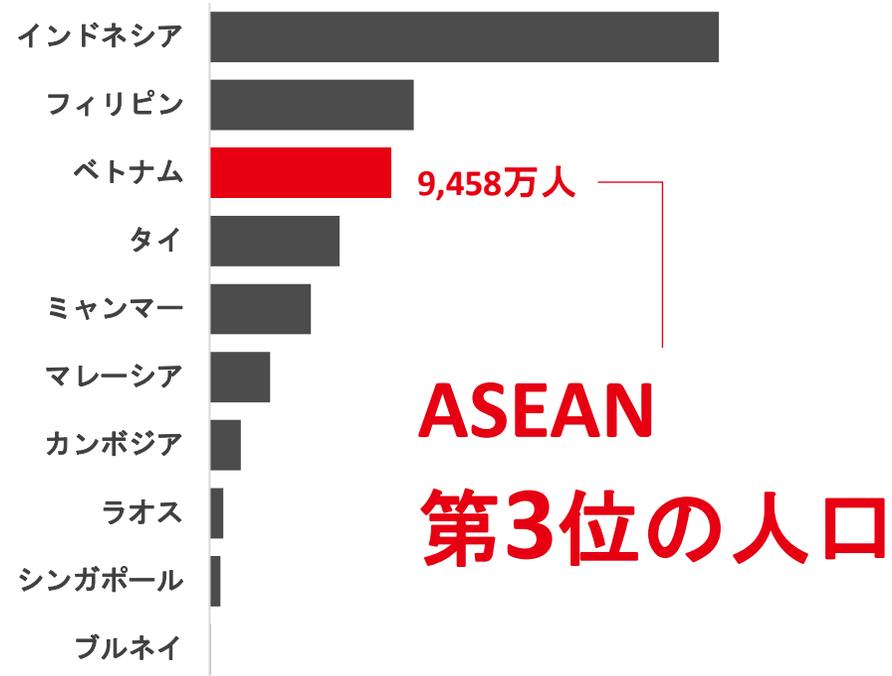
工業団地計画による
建設需要の拡大

成長戦略（今後の取り組み・新規事業）

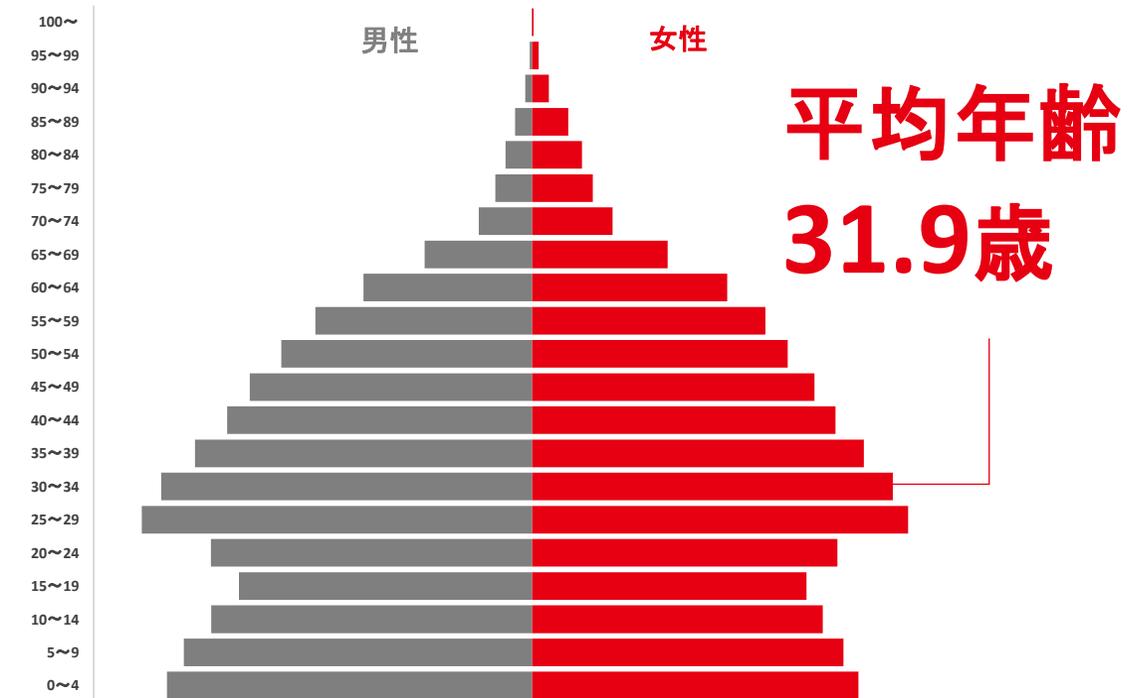
魅力的な労働力

- ・ 人口も多く、若年層の割合が高い
- ・ 技能実習生の最大の輩出国であり、日本語人材も豊富

ASEAN人口（2020年）



ベトナム年齢別人口（2019年）



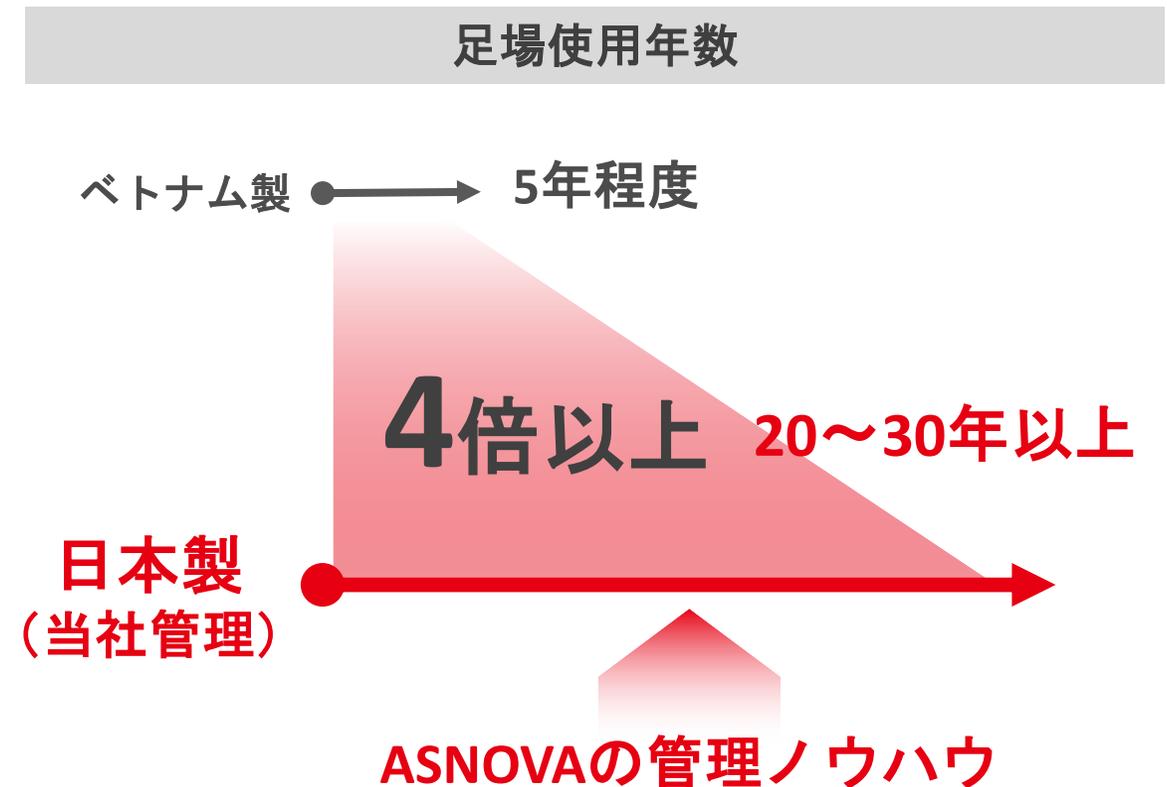
成長戦略（今後の取り組み・新規事業）

ベトナムにおける日本製品の品質、安全性、信用力

- ・ 日本製の足場は20年以上経過したものでも現役として活用
- ・ 当社の徹底した管理方法を用いれば20年、30年以上の使用が可能



非常に高い信用を獲得



成長戦略（今後の取り組み・新規事業）

シェアNo.1を目指す

経年材の
セカンドマーケット

当社の保有量
約33,000t
101億円

約1,000t
約3億円

輸送

ベトナム



足場機材の投資を継続し、
シェアNo.1へ



ベトナム事業の事業内容や戦略は、YouTubeにて公開中！
<https://youtu.be/ZwABU2rQQJw>

成長戦略（今後の取り組み・新規事業）

ASNOVA STATION（パートナーを通じた地方展開）

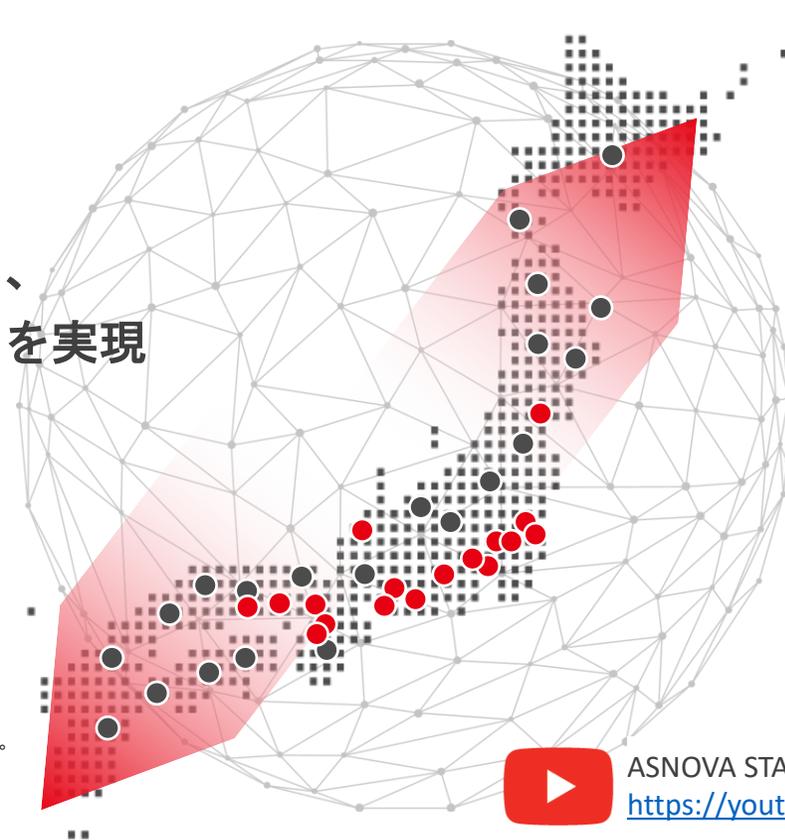
- ・ より多くの地域にサービスを届けるために、パートナー企業を通じたレンタルを行う
- ・ 全国でくさび式足場のレンタルビジネスを広げることで社会課題の解決を目指す

ASNOVA STATION

パートナー企業を通じて
全国各地においても「いつでも、
近くで、安心して借りられる」を実現

- 直営機材センター
- パートナー

※パートナーの展開図はイメージとなります。



パートナー拠点数

2023年3月期 **10**拠点を予定



ASNOVA STATION事業の事業内容や戦略は、YouTubeにて公開中！

<https://youtu.be/dmVflcxSIIM>

— 成長戦略（今後の取り組み・新規事業）

ビジネスモデル ASNOVA STATION

- ・ 当社はパートナーへ足場機材や商標・ノウハウの提供を通してパートナーを支援
- ・ パートナーは足場施工会社へ足場機材をレンタル

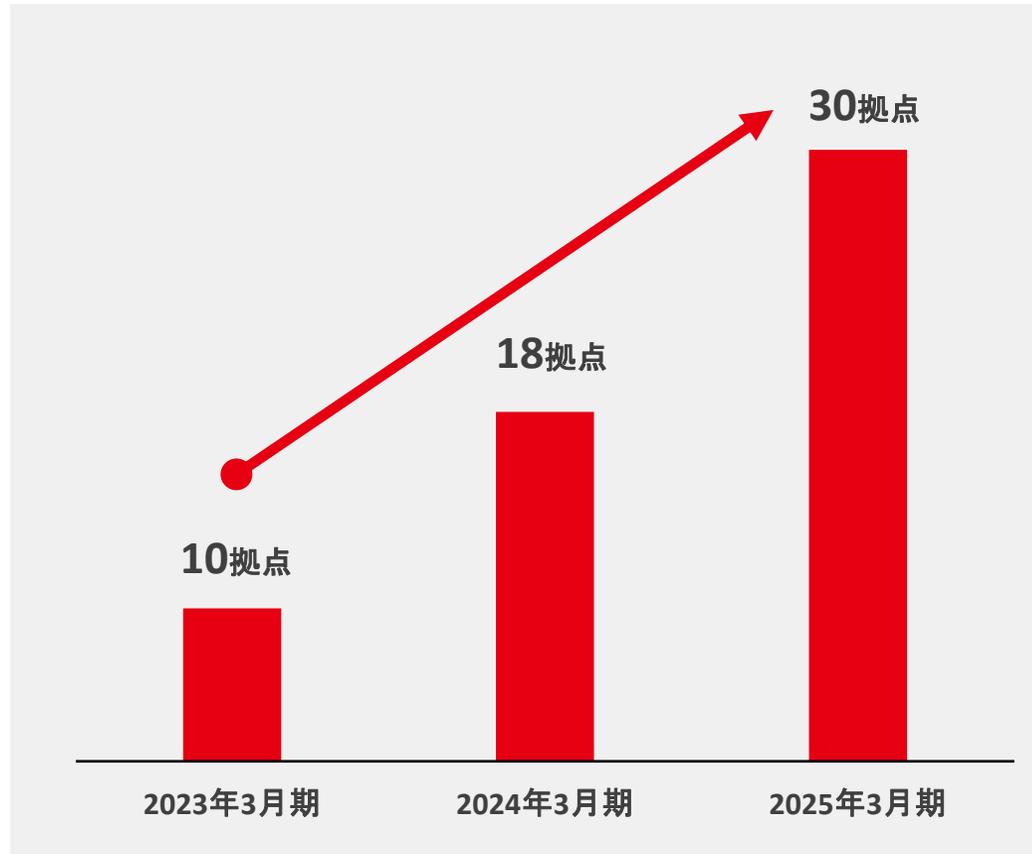


成長戦略（今後の取り組み・新規事業）

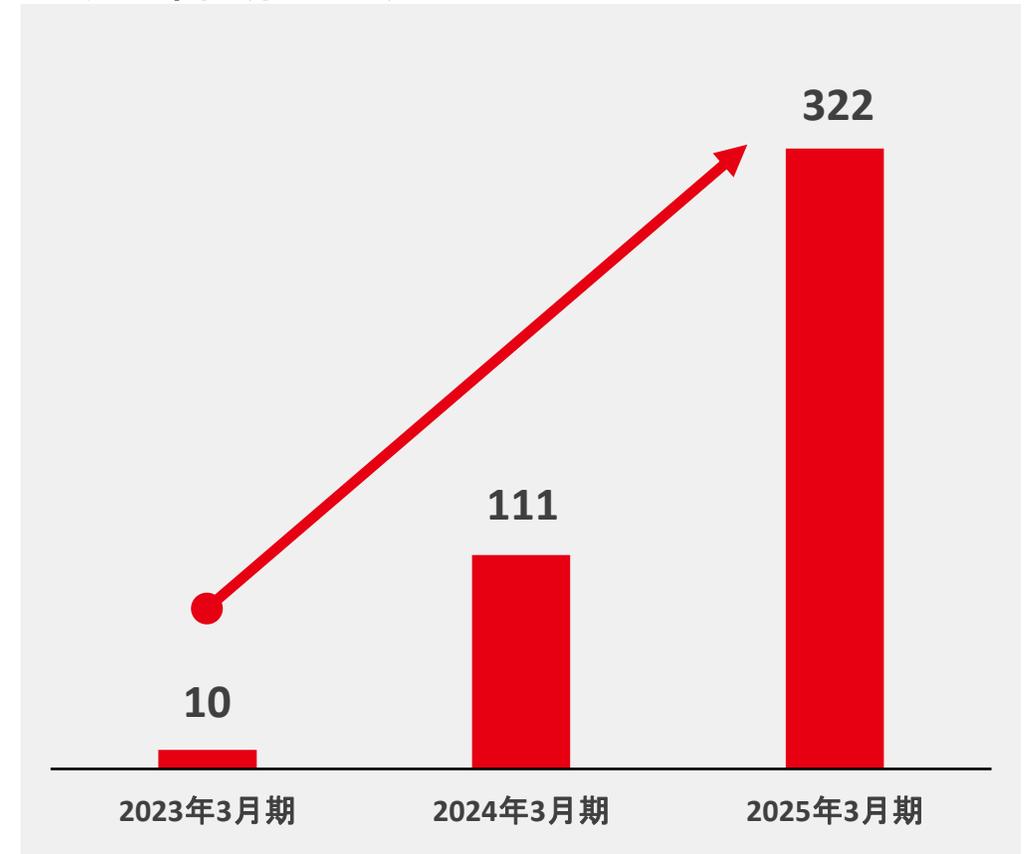
売上高推移（見込み）

- ・ 機材センターへの投資（土地・管理人員）が不要であるため、スピード感を持って拡大する

－ パートナー拠点数



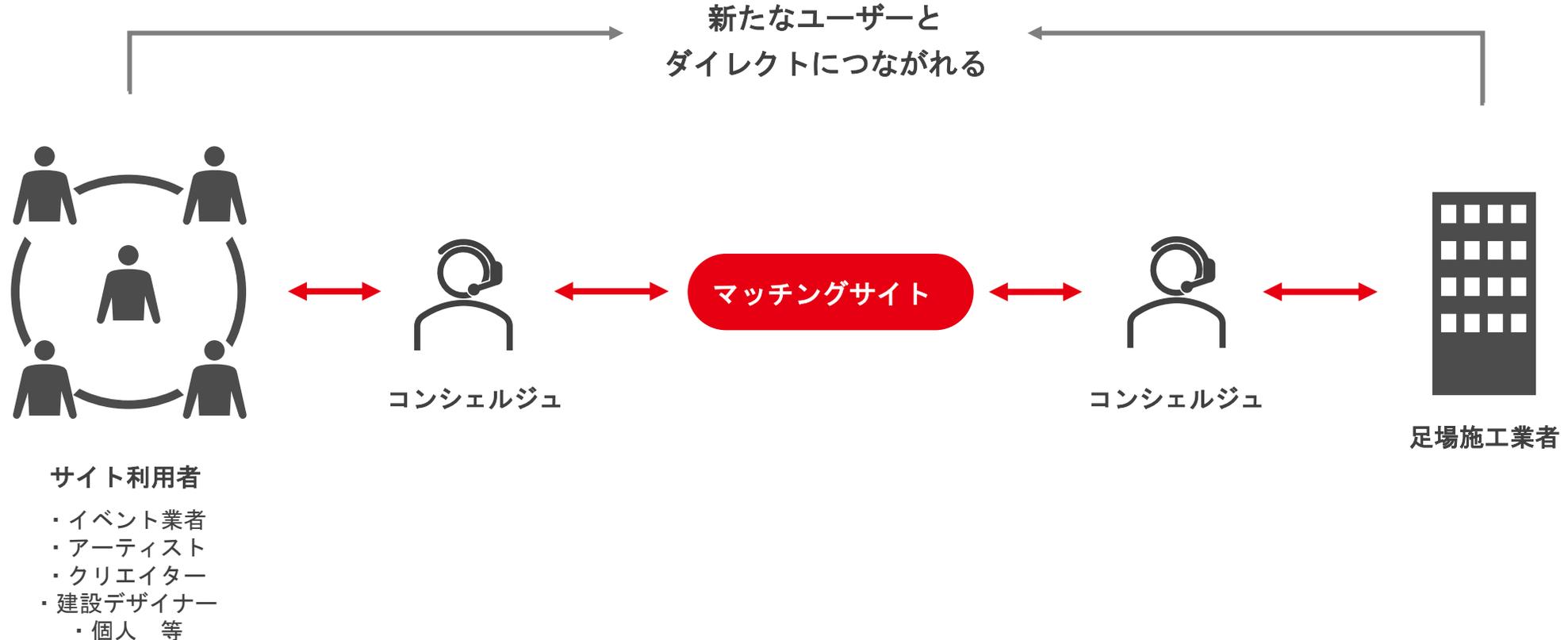
－ 売上高（百万円）



成長戦略（今後の取り組み・新規事業）

マッチングサービス

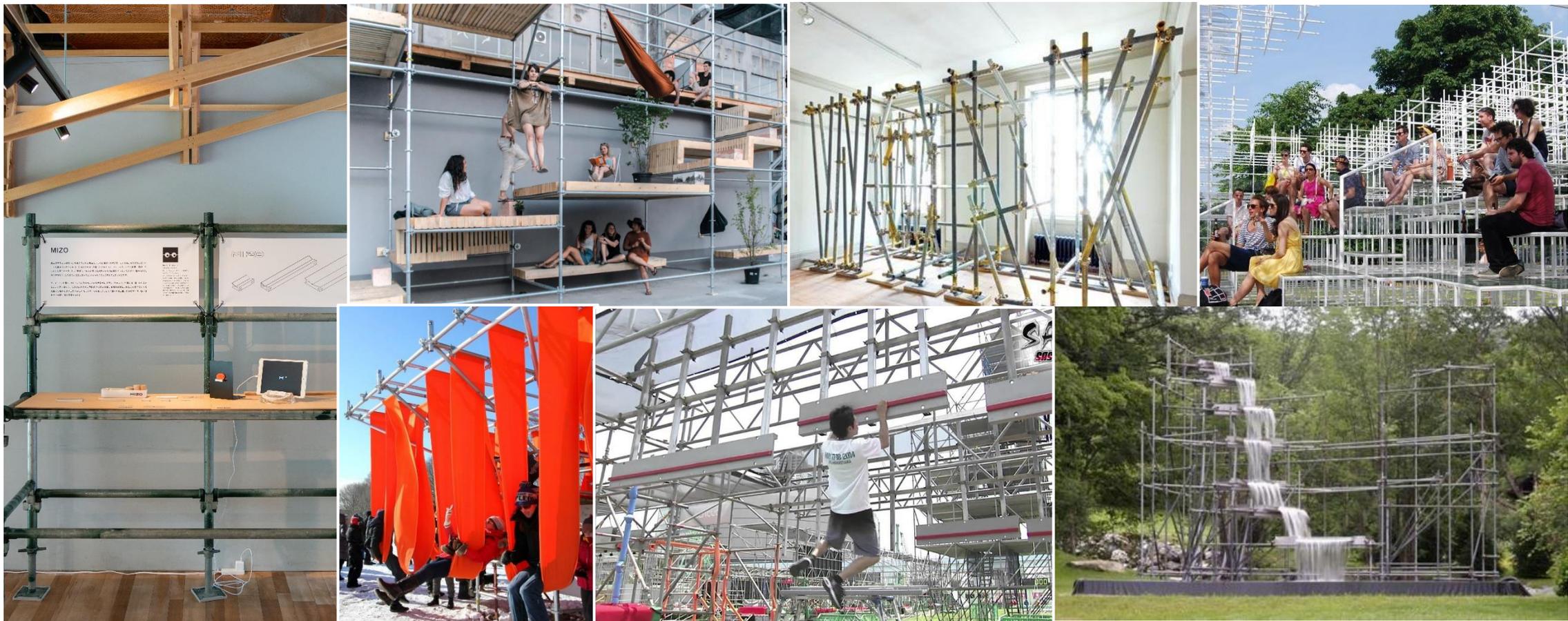
- ・ サイト利用者（建設会社以外にも）と足場施工業者をマッチングさせるサービス
- ・ ASNOVAがコンシェルジュとして間に入ることで、利用者と足場施工業者の不安を解消する



— 成長戦略（今後の取り組み・新規事業）

新たなシーンを創りだすマッチングサービス

- ・ 建設業界以外の足場利用を創り出す
- ・ 魅力的なシーンを創りだすことで足場の利用用途の拡大を目指す



成長戦略（今後の取り組み・経営基盤の強化）

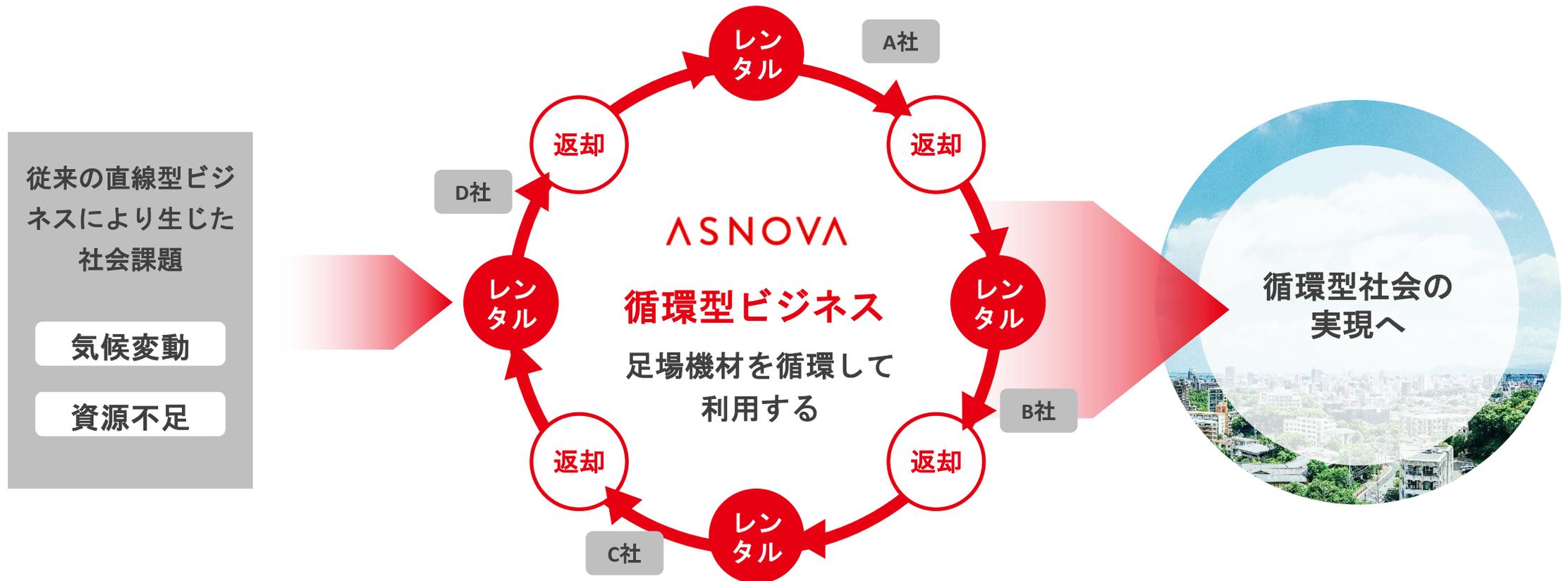
私たちは「ASNOVA WAY」を通して、パーパスを体現していきます



成長戦略（今後の取り組み）

足場レンタルで循環型社会へ貢献

- ・ 循環型経済への転換が進む中、資材を共有し循環させるレンタル型のビジネスは社会的に必要とされている



5
—

Appendix

会社概要

会社名 株式会社ASNOVA (ASNOVA Co., Ltd.)

主要事業 足場レンタル事業

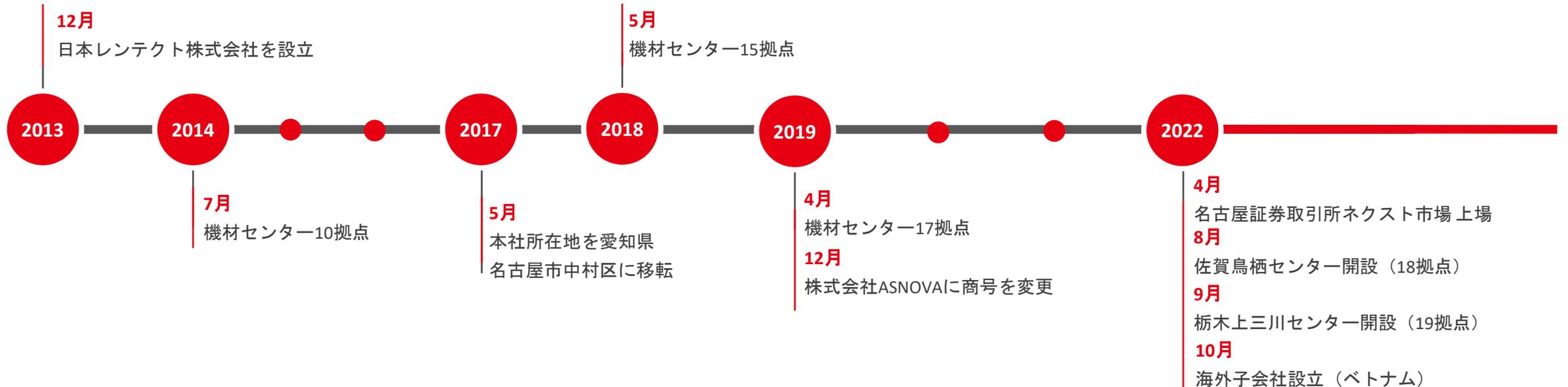
本社所在地 愛知県名古屋市中村区平池町4-60-12
グローバルゲート26階

代表 代表取締役社長 上田 桂司

従業員数 127名 (2022年9月30日時点)

拠点数 営業所数：5営業所 機材センター数：19拠点

沿革



2023年3月期 通期業績予想（上方修正）

単位：百万円

項目	2022年3月期	2023年3月期	増減額	増減率	
売上高	2,679	3,198	518	+19.3%	
売上原価	1,869	2,325	456	+24.4%	
主な内訳	減価償却費	782	1,084	302	+38.7%
	労務費	412	481	69	+16.9%
販売費及び一般管理費	643	648	4	+0.7%	
営業利益	166	224	57	+34.8%	
主な内訳	営業外収益(足場売却益)	119	30	△89	-
経常利益	287	242	△45	-	
主な内訳	特別利益(不動産売却益)	35	0	△35	-
当期純利益	204	154	△50	-	
売上高営業利益率	6.2%	7.0%	-	-	
EBITDA	1,048	1,429	381	+36.3%	

SDGs実現に向けて

- ASNOVAは社会的な課題へ向き合い、レンタル事業を通じて社会課題の解決を目指す
- また、持続可能な社会を目指すために、SDGs達成に寄与する



ASNOVA公式オウンドメディア「カケルバ」

2022年4月1日より公式オウンドメディア「カケルバ」を開設いたしました

「カケルバ」ではASNOVAの思想や新たな取り組みに関するプロセスをお伝えしてまいります

公式オウンドメディア「カケルバ」

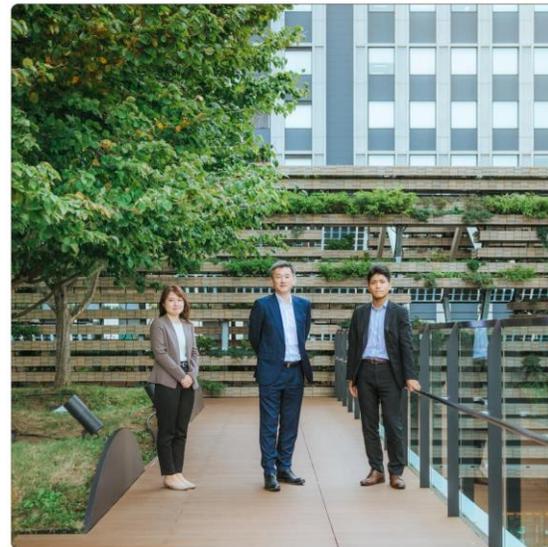


ALL ARTICLES

ARTICLE
ALL
BUSINESS
PROFESSIONAL
SOCIETY
RECRUIT
IR

FEATURE
POPUP SOCIETY
ASNOVA WAY
ASNOVA STATION
ASNOVA VIETNAM

カケルバ
ASNOVA 公式オウンドメディア



2022/04

会費や「バス層酒店」、さらには企業内大学も?「コミュニケーションが生まれる場」のカセツ

カケルバ | ASNOVA | 公式オウンドメディア

ABOUT



1 2 3

ASNOVA公式 SNS情報

LINE



@asnova

Twitter



@ASNOVA9223

Facebook



YouTube



将来の見通しに関して

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、資料作成時点において当社が入手している情報に基づき策定しているため、リスクや不確実性を含んでおり、当社がその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済環境の変化や提供するサービスの動向等の様々な要因により、将来の見通し等と異なる場合があります。

IR活動に関するお問い合わせ先

株式会社ASNOVA

経営企画室

TEL : 052-589-1848

MAIL : 9223ir@asnova.co.jp

WEB : <https://www.asnova.co.jp/>